

令和3年度後期 授業評価アンケートに対する改善報告書

授業科目名：臨床倫理特論	授業コード：M11003
担当教員氏名	教授 清水哲郎、教授 濱中喜代、講師 石井真紀子
<p>アンケート結果は、教員の行動に対しては概ね好意的なものでしたが、「授業は理解しやすいものだったか」という問いに対しては他の点よりも1ランク低い評価になっていました。これについては、今後授業開始時の履修者の臨床倫理に関する知識を調査した上で、それに合わせた授業内容にしていくなどの工夫をして、より理解できる内容にしていきたいと思っています。</p> <p>また、自分たちの学修については反省的な評価でした。これについては、事前・事後学修についてより具体的に課題を出すことで、どのような準備をすればよいか分かるようにしようと思います。準備ができると、授業中の質問・コメントなどより積極的にできるようになるでしょうし、理解も進むことと思います。</p> <p>臨床倫理については、臨床現場で実際に日々実践していることですが、臨床倫理だと自覚していないことや、どのようなやり方で実践していくかを知らされていないので、授業との連関がはじめはつかめないような思われます。修士課程修了後に臨床現場で倫理面でもリーダーシップがとれるようになるための科目として、担当教員としてより一層努めていく所存です。</p>	

授業科目名：多職種連携特論	授業コード：M11004
担当教員氏名	教授 鈴木るり子、講師 相澤出
<p>多職種連携に関して定評のある図書との取り組みに時間を割いたが、講義期間中にその新版が出て、講義中に新しいものを取り入れることが出来なかった。次年度は新しいテキストを取り入れるなどして、授業内容の改善に努める。</p> <p>多職種連携について、事例を基にグループワークを実施したが、現在の保健医療福祉行政に関する法制度や専門職種、また社会資源等について、事前準備の必要性について説明不足であった。次年度は改善を図る。</p>	

授業科目名：統計学特論	授業コード：M11005
担当教員氏名	講師 大井慈郎
<p>好意的にご評価いただきありがとうございます。みなさまが、毎授業積極的に受講して下さったおかげ、良い授業になったと思います。</p> <p>授業の最後にも申し上げましたが、この授業の内容は、これから繰り返し実践を行うなかで理解が深まるものです。復習できる教材を共有しておりますので参考にさせていただき、みなさまの研究活動の助力になれば幸いです。</p>	

授業科目名：医療社会学特論	授業コード：M11007
担当教員氏名	講師 相澤出
<p>いまふりかえると、テキストの内容など、かなりハードな講義となってしまいました。それにもかかわらず、受講者の方々ががんばっておられたことを、高く評価したいと思います。</p> <p>講義時間の超過についてご批判がありましたので、できるかぎり超過しないように心がけます。</p>	

授業科目名：コンサルテーション特論	授業コード：M11009
担当教員氏名	教授 岡田実
<p>受講者が1名だけでしたので、その方の修論のテーマ、修了後のフィールド、問題意識に沿うようにシラバスの構成に配慮しました。楽しく充実したディスカッションでした。</p>	

授業科目名：看護学教育特論	授業コード：M11011
担当教員氏名	教授 江守陽子、教授 濱中喜代、准教授 土田幸子、講師 石井真紀子
<p>看護学教育に興味を持っていただけたら幸いです。</p> <p>教員側ももっと授業の在り方等工夫して臨みます。</p>	

授業科目名：老年看護学特論II	授業コード：M31002
担当教員氏名	教授 勝野とわ子
<p>学生の授業評価から、次年度以降も学生のレイネネスおよびニードを考慮に入れた授業内容とする予定である。</p>	

授業科目名：老年看護学演習Ⅱ	授業コード：M31004
担当教員氏名	教授 勝野とわ子、准教授 木内千晶
<p>学生の授業評価から、来年度以降も学生のレディネスを考慮にいたした授業内容および課題について工夫し本科目の目標を達成できるようにする予定である。</p>	

授業科目名：母性看護学特論Ⅱ	授業コード：M31006
担当教員氏名	教授 江守陽子
<p>特になし。</p>	

授業科目名：母性看護学演習Ⅱ	授業コード：M31008
担当教員氏名	教授 江守陽子、助教 大谷良子、助教 佐藤恵
<p>特になし。</p>	

授業科目名：小児看護学特論Ⅱ	授業コード：M31010
担当教員氏名	教授 濱中喜代
<p>授業評価アンケートにご回答いただきありがとうございました。 自己評価の部分が少し低かった事前事後の学修については今後意見を確認しながら進めたいと考えます。またご意見にあった英文論文抄読・検索については今後の看護学特別研究の指導で対応していきたい。ゲストスピーカーの講義は好評であったので、専門分野の方を招くことを今後も継続していきたい。</p>	

授業科目名：小児看護学演習Ⅱ	授業コード：M31012
担当教員氏名	教授 濱中喜代、講師 下野純平
<p>授業評価アンケートにご回答いただきありがとうございました。 概ね良い評価であり、安心しました。研究指導を中心に進めることができ、準備性が高まったことは意義があったと考えます。</p>	

授業科目名：看護管理学演習	授業コード：M41004
担当教員氏名	教授 伊藤 収
<p>(科目進行上の背景)</p> <p>本科目は、大学院修了後に「認定看護管理者」の資格取得を目指す方のために設定した科目であり【医療機関に勤務している看護師長職】の方を対象としたものであった。</p> <p>しかし、今回の履修生は、その対象とは異なる（すでに認定看護管理者の資格をお持ちの看護部長経験者の方）と（看護主任職の方）の2名となった。当然のこととして、お二方の看護管理体験には大きな差異があり、演習での学びの共有は困難かと思えたが、その各々の看護管理体験から【職位を超えた看護管理学上の意味】を担当教員と共に模索するような演習授業を試みた。アンケートからは、この試みに高い評価を得たと判断できるが、予め予定していた授業内容とは大幅に異なるため、今般の授業を基にして「今後に向けての改善策」を記載することは困難である。</p>	

2021 年度授業評価アンケート

本アンケートは、大学院における授業改善を目的として実施しています。個人を特定できないよう無記名でご回答いただけます。回答は自由意志ですが、ご協力いただきますようお願いいたします。

※教員が複数で担当している場合はおおむねの状況で判断し、特記事項については自由記述欄に記入してください。

以下の質問について、あてはまると思う番号を選択してください。

【科目名：大学で入力】【授業コード：大学で入力】

No.	質問内容	全くそう思わない	強く思う
1	シラバスの概要、目標、内容、方法、評価基準は、適切でしたか。	1	2 3 4 5
2	指定された参考図書や教科書は、適切でしたか。	1	2 3 4 5
3	配布されたレジュメや資料は、適切でしたか。	1	2 3 4 5
4	授業の回数は、適切でしたか。	1	2 3 4 5
5	1回の授業での進度は、適切でしたか。	1	2 3 4 5
6	開講時期や曜日、時間は、適切でしたか。	1	2 3 4 5
7	講義方法は、適切でしたか。	1	2 3 4 5
8	授業は、理解しやすい内容でしたか。	1	2 3 4 5
9	教員の指導やコメントは、適切でしたか。	1	2 3 4 5
10	プレゼンテーション（担当課題）の事前準備は適切でしたか。	1	2 3 4 5
11	演習や課題等に関する事前・事後学修は適切でしたか。	1	2 3 4 5
12	授業に参加する態度（質問や発言）は適切でしたか。	1	2 3 4 5
13	授業から知的刺激を受け、関連する学修を深めたいと思いましたか。	1	2 3 4 5
14	授業の成果を研究活動に活用できると思いますか。	1	2 3 4 5
15	この授業に関する感想、意見、要望をご自由に記載して下さい。		

※授業評価アンケートは Google フォームにて回答を求めた。

大学院授業改善報告書

授業科目名：	授業コード：
担当教員氏名	
開講年度・時期	令和 3 年度 前期・ 後期 ・通年（どれか1つを○で囲む）
1. 授業評価アンケートの結果を踏まえた改善策、または感想等（この部分は公開予定です。）	
2. 受講している院生の状況や課題等、授業評価アンケートに対するご要望、ご意見等	

※令和4年5月18日（水）を目途にご返送願います。